

桜美林中学校・高等学校

東京都町田市常盤町 3758

桜美林中学校・高等学校は戦後すぐの1947年、「キリスト教精神に基づく国際人の育成」を建学の精神に掲げ創立された。創設者の清水安三が唱えた「学而事人＝学びて人に事える(仕える)」を学園のモットーにする。その精神の実現のため、多彩な国際交流プログラムも用意されている。そこは公立一貫校でも及ばない点だろう。桜美林は大学も擁する総合学園だが、高校で一定の成績条件を満たしていれば、他大学の併願受験もでき、その実績も鰻登り。あらゆる面で今、注目に値する私学といえよう。



学校付き教師として10数年の経験を積み、今年から校長に就任した室本陽子校長。創立者と縁の深い教員の教師を務めたこと。

《沿革》

- | | |
|-------|---|
| 1921年 | 学園創立者・清水安三が中国北京市朝陽門外に崇貞学園を創設 |
| 1946年 | 清水は中国から帰国後、旧制高等女学校、英文専攻科として桜美林学園を創設 |
| 1947年 | 桜美林中学校を開設。翌年、学制改革に伴い桜美林高等学校に改組。高等女学校は廃止 |
| 1950年 | 桜美林短期大学を開学、これに伴い英文専攻科は廃止 |
| 1966年 | 桜美林大学を開学 |
| 1976年 | 野球部が第58回全国高等学校野球選手権大会初出場初優勝 |
| 2008年 | 荊冠堂(チャペル) 献堂・パイプオルガン奉献 |

桜美林中学校・高等学校(以下、高校)は東京都町田市にある。広大で緑豊かな敷地面積は38420m²。観客席まで含めた甲子園球場の総面積に匹敵する。同校のサイトには「数字で見る桜美林中学校・高校」と

いうページがあるが、総生徒数は1700名にも及ぶ。うち中学生は458名だが、高校生は1242名と3倍近い。それだけ高校から入学する生徒が多い。冒頭で紹介したように、桜美林は神奈川県ではなく都内の学校だが、在籍生徒の居住エリアを見ると、中高とも最大は横浜市でそれぞれ25.4、27.5%。次

いで隣接する相模原市で揃って18.5%に達している(2020年度情報)。3番4番手の順番は中高で異なるが、いずれも川崎市に地元の町田市で10~15%ほど。よく冗談で「神奈川県町田市」と呼ばれる理由がこの数字からもわかる。町田市はそれだけ地理的・商圏的にも神奈川県寄りなのだ。ちなみに電話の市外局番は相模原市と同じ「042」である。

実際に桜美林中高を訪れると、「数字で見る」のデータが続々実感される。定期的に学園とJR淵野辺、京王・小田急・多摩都市モノレールの多摩センター両駅間を結ぶ、大学と共有の年間スクールバスの運行本数は50918本。両駅からキャンパスまで徒歩では相当かかるが、バスを使えば10~20分ほどで辿り着ける。しかも、多摩センターも路線バスが複数通じる町田も、東京郊外では最大級の駅で、大型書店や有名予備校・塾も揃っている。

また、面白いのがキャンパスに建ち並ぶ施設の命名で、パッと見意味を取れない名称もある。中学校舎を「立志館」、高校校舎を「大志館」と呼ぶのはまだしもわかりやすい。その間に位置する図書室は「念書用功館」と呼ばれるが、中国語で「読書」と「一生懸命勉強する」を意味する、念書と用功を足しての命名。また、その脇の「化楽館」は1階に美術室と生物室、2階に書道室と化学室、3階に音楽室と物理室がある、いわば特別教室棟。これは化学と音楽から名を採っている。立志館の向かいの「老実館」には技術室、被服室、調理実習室などが収まるが、「老実」とは「物事に慣れていて誠実である」という意味なので、修練を必要とする科目を学ぶ場の命名として適切だ。こうして長らく中国で学校経営をした創立者の清水安三のセンスが施設名にも溢れている。

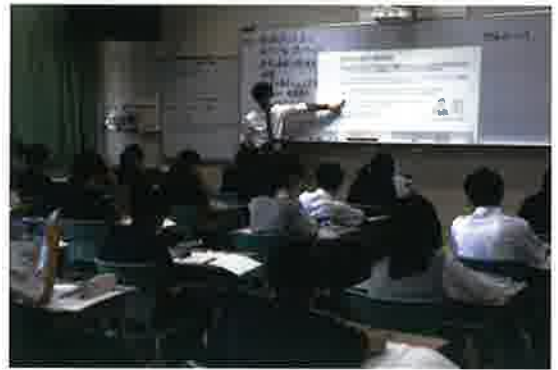
創立者の思想に基づく国際理解教育

キリスト教校といっても、伝道団体によって設けられたミッション校ではない桜美林には、清水翁への尊崇が感じられる。創立者のイズムが今なお漲っている点は、清水が学んだ、新島襄の設立した同志社とも似通っていよう。事実、清水は新島のひそみに倣い、アメリカ留学もし、母校を自ら設立した学校の手本とした。今年から桜美林中・高校長となった堂本陽子校長も同志社大大学院で神学を修め、卒業後は日本キリス



同時進行で展開された中1社会・地理分野の授業では、中国について学んでいた。中国内の経済格差は地理的条件が大きい。今なお困窮を抱える内陸部にも目を向けるよう、森 務教諭は生徒に促す

格差の要因を問う社会科ははじめ、キリスト教精神が授業に息づく



ト教団近江八幡教会、倉敷教会で牧師を務めた。追って別掲コラムに詳述するが、近江八幡教会には清水の恩師だった建築家、ウィリアム・メレル・ヴォーリズが通っていた。

「本校にはまず2003年からチャプレン(教会に属さぬ聖職者=学校付き牧師)として赴任しました。新島同様、安三にもアメリカの教育の影響が大きかったと思います。主人公はあくまで個人。自由な個が集まって社会が作られる、といった考えです。人生の中で様々な違った人格と出会い、彼らと自らの尊厳を守りつつ、新たなものやその人自身を作り出す、そんな生徒を育てたいと思っています」

堂本校長自身、父親の仕事の関係から香港で生まれた帰国子女。イタリア人やアメリカ人に囲まれて育ったが、小学4年で帰国してからは苦労も味わったという。

「ヴォーリズはキリスト教の本当の意味を知っていました。布教のためアメリカから訪れた日本を愛し、日本人になりたいと帰化までした。真のグローバル精神の持ち主だと思います。安三も強い感化を受けまし



中2総合のテーマは「食といのち」。学園内の畑で米やサツマイモ、花などを栽培し、日々の世話や観察記録を通じ、自然の恵みを肌身で知る



中3総合で黙々と自らが設定した課題の情報収集をする生徒ら

た。本校にもそんな精神が受け継がれているんです」

今はコロナ禍でストップしているが、だからこそ桜美林は国際交流に並々ならぬ意欲を燃やす。中学3年の研修旅行で赴くのはオーストラリア。毎年12月に7泊8日の旅程で実施するが、4泊は現地の牧場でファーム・ステイをする。牧畜の手伝いをしながら、異文化理解を深める。また、毎年夏季や春季休暇中に希望者が短期や中期の留学で向かう先は、シンガポール・フィリピン・ニュージーランド・アメリカ・イギリスなどと盛り沢山で、韓国や中国の姉妹校訪問といったプログラムも用意されている。

国際人としての基礎を学ぶ社会や国語

どの国に行っても幅を利かすのが英語だが、訪問日の時間割の都合で、高校の授業しか確認できなかった。しかし、キリスト教校が英語に力を入れ、看板ともしているのは常識。それ以外の授業を多く見られたのはかえって僥倖だった。まず隣り合わせた2つの教室で同時進行する中1地理を覗いてみた。

双方、中国について学んでいたが、一方では気候から説明していた。東西南北に広大な中国は大まかに熱帯・温帯・乾燥帯・冷帯・寒帯などに分かれるが、気候によって産業が大きく異なる。他方ではその説明に当たっていた。すなわち、沿岸部と山間部で経済格差の生じる理由だ。今や世界一の購買力を誇る中国の実情を、吉田智仁教諭は流暢かつわかりやすく説く。

「14億人の人口の半分は都市、つまり沿岸部住民。(北京・上海・広州に次ぐ第4の都市の) 深圳市の成長が特に著しいが、かつては貧しく小さな漁村だっ

クラスが輪になって、「電流」のように理解をつなげる理科

た。そこに多くの労働者が流入してできた、まだ新しい都市なんだね」

俗に“深圳スピード”と呼ばれる発展ぶりを見せたのも、1978年以来の改革開放政策の影響が大。OEM生産の一大拠点となり、中国初の経済特区指定を受け、「世界の工場」＝中国の象徴だったが、ファーウェイやテンセントといったハイテク企業も深圳から出発し、今では「アジアのシリコンバレー」とも称される。しかし、吉田教諭は「忘れてはならないのは農村などの暮らし」と釘を刺し、生徒らに資料集の該当ページを開かせるのだ。

本物の国際人なら、そうした格差の問題も自分事として捉えられるはずだ。偶然にも中2国語でも芸術の国際性について論じるテキストを扱っていた。教科書中の作家・田中真知による『黄金の扇風機』というエッセイ。著者がエジプトに在住していた時分に覚えた、派手な現地製品への違和感が、それらが先進国並みに標準化され、薄れてしまったことから、文化や地域によって異なる美意識の尊重を訴えている。若森秀隆教諭は世界的指揮者・小澤征爾の著書『ボクの音楽武者修行』を引き合いに出す。「外国の音楽をやるためには、その音楽の生まれた土地、そこに住んでいる人間をじかに知りたい」と、小澤は24歳でスクーターでのヨーロッパ人旅に向かった。

「小澤さんはヨーロッパで自分の実力を試した。そして、『自信を持ちたまえ』ってあのカラヤンに言われたんだ。その小沢さんが師事した、もう一人の有名な指揮者が(レナード・)バーンスタインですよ。知ってる？ 最近も映画になったミュージカル『ウェスト・サイド・ストーリー』は彼が作曲したんだから。『マリ



受け持ちクラスの生徒全員が亀山勇教諭を取り囲み、まるで大喜利のように賑やかに「電流の正体」が解き明かされていく中2理科

ア』とか『トゥナイト』とか名曲だらけでしょ」

そこで生徒に「歌ってください」と囁かれ、つい歌い出しそうになる若森教諭。この脱線の途中、「クラシックは日本人には無理と思う人は？」と教諭は生徒らに挙手を求めた。すると、たった2人が手を挙げた。そのうちの1人、加藤彩良紗さんに理由を訊いた。「やはりヨーロッパとは文化の相違があるし、歌などは幼少期の母語の問題も大きいと思います。真の理解には至らないのではないかと。私自身、音楽は習っていませんが、琴や華道はやっていました、今は美術部で絵を描いています」

すでに立派な個の主張を持った加藤さんが、様々な国際交流の機会が再開すれば、また考えも改まるかもしれない。美術こそ国境を越えるし、日本のマンガ・アニメこそ国際的に認められ憧れられてもいる。

校是「学而事人」を具現化した若手教師

立志館理科室に集まった中2理科・物理分野は担任でもある亀山勇教諭が教えるため、実にリラックスした雰囲気。教諭は「電流の正体」について、実演を交えながら解説していたが、半ばふざけた生徒たちのツッコミがあながち間違っていなかったのは、いわば

以心伝心というところか。スクリーンには電池を発明したアレサンドロ・ボルタと電子を発見したJ. J. トムソンの肖像画と写真が映し出される。

「この2人は誰でしょう？」と教諭が問うと、「(『スーパーマリオ』の) マリオとルイージ」と一人の生徒が答え、一同大爆笑。しかし、亀山教諭は狼狽えず、生徒たちから自発的に「電子」という言葉が出

《主な大学合格実績》

国公立大学名	2022	2021	2020
東京工業大学		1	1
東京外国語大学	3	2	1
東京都立大学	6	7	3
埼玉大学	2	1	
横浜国立大学	4	5	3

私立大学名	2022	2021	2020
慶應義塾大学	3	5	2
早稲田大学	6	10	7
上智大学	16	17	12
東京理科大学	11	15	5
明治大学	50	31	28
青山学院大学	29	30	44
立教大学	24	21	32
中央大学	75	39	43
法政大学	58	44	46



5万冊の蔵書を誇る図書室に、「アニメや映画の原作本」など項目ごと、推薦図書がデスク狭しと並べられるのは珍しい

高1英語表現ではテキスト中の、格安だが眺めが悪い、料理は一級だがWi-Fiが通じないなど、条件が食い違うホテルの「どちらに泊まるか？」で生徒は侃侃語調。アイルランド人のアンドリュー教諭の巧みな指導が光った

豊富な国際交流のベースとなる、英語は表現に力点を置く

るのを待つ。そして、彼らを電子に喩える。実際、親しげに教諭を取り囲む生徒らが、まるでカエルの卵のように数珠繋ぎに見える。

「すべての物質に電子は含まれている。だから、電子はこの回路全体にある。導線の中にいっぱい詰まっていて、いわばところてんのように押し出され、豆電球を光らせるイメージだね」

電流とは電子の流れ。教える学びも無限にループするところてん突きみたいなものかもしれない。亀山教諭は桜美林に赴任して3年目だが、前任校はシンガポールの日本人学校で、大卒後5年間は海外協力隊で働き、ソロモン諸島の子どもらに理数科を教えたという。まさに「学而事人」を地で行く人物だ。

中3総合では「異文化理解と平和学習」について1年かけて自主的に学ぶ。生徒たちは自身で見つけた課題に関連する情報を端末で検索しながら、黙々と構想をノートやワードファイルに書き込んでいる。『ジェンダー平等』『中国と日本の食文化の違い』と興味深いタイトルが並ぶが、『南スーダンと困窮』という重いテーマに取り組むのは武田莉音さんだ。

2011年、スーダン共和国から独立して生まれた南スーダン共和国は世界で一番若い国。かつてイギリスとエジプトによる共同統治下に置かれていたスーダンでは、イスラム教を信仰するアラブ系住民が多い北部（スーダン）と、キリスト教や伝統宗教を信仰するアフリカ系住民が多い南部（南スーダン）を分断する植民地政策が採られていた。その結果、1956年にスーダンが独立する際、北と南の間で内戦が勃発し、約半

世紀に渡る長い紛争が続いていた。南スーダン独立後も頻繁に国内で部族間の武力衝突が続いていた。

和平協定締結も何度となく頓挫したが、2020年2月に暫定政府が発足し、現在はようやく復興への道を歩み始めた段階。国内の2人に1人以上が食糧不足に苦しみ、死亡した子どもの4人に3人は簡単に防げる病気が原因で亡くなり、10人に7人の子どもは学校へ通えていない。日本でもユニセフなどが盛んに同国への募金を呼びかけているが、武田さんはどれだけの効果があるか疑問視していた。

「現状が変わっていないからです。いくつか資料を読むと、安全な水も食料も足りないそうです。きちんと届いているのか疑わしいし、何よりそうした状況から早く抜け出せるよう、もっと根本的な支援が必要な気がします」

人口1100万人の国に国内で難民化した人が160万人いる、という事態は食糧自給や外貨獲得のための生産もほとんど成り立っていない証だ。武田さんがさらに調べを進め、なんらかの具体策の提示に至ることを期待したい。

利他心の中に自己を映し出す聖書教育

こうして桜美林の授業に接すると、痛感するのは「人間教育」への明確な志向だ。中学と高校で聖書を教える今村羊生文教諭は「それも安三が買った隣人愛に基づく生き方がベースにある」と語る。同校では正規の授業として聖書科を設けており、高1までは必修だ。

「なんらかの使命感がなければ、私学の存続は難しいと思います。聖書を教えるといっても、額面通りではなく、そこから社会の問題や現代人の在り方を考えることになります。そもそも日本人ほど宗教的な民族はないでしょう。お盆にお経を上げ、七五三で神社を詣でる。年中行事の大体は神事や仏事に始まっていますからね。だから、生徒は共感的であれ批判的であれ、的確な感想を『礼拝ノート』に書いてきますよ」

礼拝は週に1度は学校内のチャペル「荊冠堂」にて、全中学生と高校各学年ずつで40分かけて催されるが、それ以外の曜日はクラスごと5分程度行う。チャペルでの礼拝の前半は祈りと賛美歌斉唱と型通りだが、後半を



下の名でわかるようクリスチャン家庭に生まれた今村教諭

「奨励」の時間とし、チャプレンや教会牧師、教員、社会奉仕団体の関係者を招き、めいめいの実践に即した奨励を聞く。昨今、キリスト教に範を取ったとされる新宗教



座席数600席と中学なら全学年が収まる、巨大でモダンなチャペルには壮麗なパイプオルガンが設けられている

が跋扈し、社会問題化しているが、そうした“カルト”の洗脳についても授業でしっかり教えている。

「占い、オカルト、スピリチュアル…若い世代は興味本位でそちらに走りがちです。実に宗教的な日本人なのに、宗教教育は疎かにされているので、カルト等を見極める目が育たないんです。むしろキリスト者になれとは一言も言いませんが、結果的に信仰に導かれる生徒も出てきます。比較的女生徒に多いようですね」

冒頭文で明らかにしたように、桜美林は現在、中学受験でのチャネルを増やし、特に適性検査型入試枠を拡充した結果、相模原中等教育学校の有力な併願校となった。その「総合学力評価テスト」は同校の求める、柔軟な思考と適応性を持った生徒を招き入れる、新たなきっかけともなっているようだ。

清水安三が追い求めたいくつもの夢 桜美林創設と野球部の甲子園優勝

本文に記したように、桜美林学園の創設者、清水安三は滋賀県立第二中学校（現在の膳所高校）に入学し、ウィリアム・メレル・ヴォーリズに出会った。ヴォーリズは建築家志望だったが、大学2年で参加した海外伝道ボランティアの大会が契機となり、宣教師としてでなく一信徒の立場で、キリスト教伝道を志す。そして1905年、YMCAが幹旋する派遣英語教師となり、県立商業学校（現八幡商業高）に赴任。同時に県立二中、彦根中学（現彦根東高）などでも英語講師を務めた。県立二中では上級生を受け持っていたが、



画像：手に持った聖書に描かれたキリストの顔を見つめる清水安三

放課後には自宅等でバイブルクラスを設け人気を博し、そこに安三も招かれたのだ。

ヴォーリズは優秀な教師だったが、このバイブルクラスが仇となった。1907年2月、近江八幡に私財をなげうってYMCA会館を建てると、近隣住民から

「生徒らをキリスト教に感化させた」との非難の声が高まり、翌月にはすべての教職を解かれた。もともと、たちまち困窮したヴォーリズは近江八幡を離れず、建築を生涯の仕事としながら、現在のヴォーリズ記念病院を建て、メンソレータムを日本に導入した近江兄弟社を設立する。

ヴォーリズの導きでクリスチャンになった安三だが、それ以上に師のバイタリティを受け継いだといえよう。同志社神学校（現・同大神学部）卒業後、桜美林の名の由来である米オーバリン大で学び、義和団事件で殉教した米国人宣教師ホレス・ビトキンの逸話に感銘を受け、自身も中国での布教の道を選ぶ。やがて北京のスラム街の貧しい子女のために建てた崇貞学園が桜美林の源流となった。

桜美林といえば、1976年の夏の甲子園に初出場で優勝を飾った野球部で知られるが、安三自身が大の野球好きで、同志社の講師時代には野球部部長を務めた経験もある。そこで桜美林開校早々に野球部を設立し、「いずれ甲子園で優勝する」と豪語していた。当初は弱小チームで「得意の大ボラ」と笑われたそうだが、見事に優勝を成し遂げ、安三はこんな歌を残した。“夢を見よ。夢は必ず成なるものぞ。うそとおもわば甲子園に聴け”。